

医機連通信

目次

<ミニコラム> 国際競争力について考える～医療機器政策調査研究所(MDPRO)

- I. 環境経営フォーラム 15 周年記念シンポジウム
- II. 第 18 回開催「ものづくりパートナーフォーラム 2015」
- III. 「平成 27 年度 第 1 回 医療機器の承認・認証申請等に関する説明会」開催報告

〔International Information〕

- I. 国際会議予定
- II. 国際政策戦略委員会関係

〔事務連絡〕

- 《発出された行政通知・事務連絡》
- 《刊行物のご案内》
- 《平成 27 年度 医機連主催講習会等のお知らせ》

<ミニコラム> 国際競争力について考える～医療機器政策調査研究所(MDPRO)

10 月 5 日、環太平洋経済連携協定(TPP)の大筋合意が発表されました。

今後、ヒト・モノ・カネの移動がより活発化し、各産業は更なる国際競争力が求められます。

日本の医療機器産業の国際競争力についてみてみると、国内では「輸入超過」である一方、海外に関しては考察に足る情報が不足しています。

このため、IR 情報(有価証券報告書など、投資家向け一般公開情報)にて海外売上高を公表している国内医療機器関連企業：30 社を対象とし、集計を試みました。

その結果を以下に示します。

	総売上高 (億円)	うち国内売上高 (億円)	うち海外売上高 (億円)	海外売上高 比率
2013 年度	29,791	13,535	16,259	55%
2014 年度	32,323	13,302	19,021	59%
対前年度比率	108%	98%	117%	

あくまで公開情報により入手可能であった 30 社に限定した結果ですが、海外売上げが伸びています。

健康・医療戦略などの国の政策において、日本の高度な医療技術を国際展開し、産業振興とともに各国の医療水準の向上に寄与することが示されています。

今後、医療機器産業は国際競争力をさらに高め、国内の医療の質の向上に貢献するとともに、各国のニーズに合致した海外への展開が求められています。